



さだ公民館だより

令和6年2月19日 95号
編集・発行 佐田地区公民館
電話：44-0312

第33回米神山巨石祭開催

米神山「神が宿る山」には
日本最大級の環状列石（ストーンサークル）である「佐田京石」などの
巨石群があります
いつ・誰が・何のために 謎だらけ
佐田の大きなイベント 佐田っ子たちも巨石祭について キッズガイドで案内します
この謎多き山に登ってみよう

- | | |
|---------|---|
| 開催日時 | 令和6年3月10日（日）午前10時 |
| 開催場所 | 宇佐市文化財指定【史跡・京石】現地 |
| 山開き祭神事 | <ul style="list-style-type: none"> ・山の神の鎮魂と安全祈願祭 ・浦安の舞 |
| アトラクション | <ul style="list-style-type: none"> ・祝賀もちまき ・佐田小児童による現地でのキッズガイド ・ふれあい市場 ・米神山探訪登山 |



俳句教室

令和六年一月 三九一号
佐田句会一月十六日 佐田公民館（七名）

兼題 松の内 七草 冬木の芽
松本公節 選評

○冬木の芽木々の吐息や風に消え 彰裕

○とりあへず七草揃ふ安堵かな 〃

（評）「冬木の芽」を見ていたら、「吐息」が聞こえたとい
う、ロマンチックな句。

七草はそろわない故に揃えば「安堵」でしょう。

○草木のいのち育む寒の雨 まさ子

（評）この時期の雨の役割は正にこの通りで、堂々の句。

○京石へ御形一株採りに行く 美佐子

（評）「御形」は母子草のことで、このこだわりが佳い。

○妻が居て喜寿に七草摘む楽し 義彦

（評）俳句はなるべく気持ちを言わない。「楽し」を「摘み
にけり」ならよかった。

○しきたりの漆器一式松の内 二三華

（評）「漆器一式」で、古風通りに過ごす正月風景が凛とし
て見えます。

○山住みの母の七草爪をつむ 征子

（評）思慕の情が溢れる「母の七草」が輝いている佳い句。

選者吟 冬木の芽空の広さを知り尽くす

二月の例会は佐田公民館で

二月二十日 兼題は 春浅し、梅、鶯

令和5年度 第2回

あじむ学講座開催しました

本年度第2回あじむ学講座を実施しました
多くの方に受講していただきありがとうございました

- 開催日時 令和6年2月8日(木) 10:00～11:30
公演場所 安心院中央公民館内 視聴覚室
講師 元大分県教育委員会文化課
坂本 嘉弘 氏 (挟間町在住)
演題 「～宮ノ原遺跡～弥生時代の安心院」
○ 弥生時代の宮ノ原遺跡と
安心院盆地の古代について
○ 出土土器や周辺の遺跡・遺物について

宮ノ原遺跡の発掘調査に携わった 坂本先生の講話は
何も知らなかった 私にはよい勉強になりました
弥生時代(紀元前4世紀ころ) 安心院盆地周辺の谷間や
盆地内の低湿地では 水田で稲づくりをしていたそうです

なお 次回のあじむ学講座は6月上旬を予定しています(現地視察など)
あじむの歴史を 学ぼう!!

最近ちょっと疑問に思う事

いまや世界では、新型コロナウイルスに関するワクチンは後遺症のリスクが高く怖いので既に接種を中止しているらしい。

ところが、日本では7回目の新型コロナウイルスワクチン接種を奨励している、これでいいのか日本と疑問に思っています。

新型コロナウイルスに関連する国家予算は、すでに77兆円にも膨れ上がっているそうですよ、国民一人当たりに換算すると70万円以上になります。

ワクチン接種を、ストップしている他国で、コロナによって大混乱は起きていないし、日本でも、第5類に分類された、どうして日本は大金使って7回も打つのかな。

また、目立たないよう、分からないよう税金集めが始まるのかな。

何とも、金遣い・気前の良い総理?

お知らせ

☆昨年暮れに亡くなられた、矢津の河野貞一さんの妻河野美重子さんから、佐田地区公民館に寄付(金一封)を頂きました。

ありがとうございます。

☆二月に亡くなられた、且尾の加藤明子さんの娘加藤幸子さんより、佐田地区公民館に寄付(金一封)を頂きました。

ありがとうございます。

佐田公民館だより QR コード
スマホからカラーで閲覧できます。

